

研究内容I

1日30分(年間約100時間)の学校裁量の使い方

子供のための時間

①可也っ子タイム

・月ごとに決めたテーマで、学級・学年単位で取り組む。

(例) 4月…集団づくり、仲間づくりの活動

5月…体力アップのための活動

※ 6月以降は児童の実態に合わせて内容を決定。

②ぐんぐんタイム

A:国語や算数を中心に、基礎・基本の定着を図るもの。

B:子供が自分の課題を把握し、自己選択学習を行うもの。

③可也っ子屋

・九州大学のサークルの協力で、児童の学習支援と大学生の専門分野のお話会。放課後実施で、参加は希望制。

教職員のための時間

①学び合いの場(新時代)

・教師が自分の得意分野についてのミニ講話を職員に対して行い、全員で学びを共有する。



②ぐんぐんタイムや授業の準備

・可也っ子タイムでの児童の状況から、教材を作り直したり、授業の教材教具の準備を行ったりする。

